

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

横浜みどりアップ計画の評価・提案 (案)

横浜みどりアップ計画市民推進会議平成 27 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

平成 28 年 月

目次

1 はじめに
2 横浜みどリアップ計画と市民推進会議	
(1) 横浜みどリアップ計画
(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議
3 市民推進会議平成 27 年度の活動実績	
(1) 平成 27 年度の活動の概要
(2) 活動の詳細内容	
市民推進会議(全体会議)
施策別専門部会
調査部会(現地調査)
広報・見える化部会
4 施策ごとの評価、提案
(1) 取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む	
施策1 樹林地の確実な保全の推進
施策2 良好な森を育成する取組の推進
施策3 森と市民とをつなげる取組の推進
(2) 取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる	
施策1 農に親しむ取組の推進
施策2 地産地消の推進
(3) 取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる	
施策1 市民が実感できる緑を創出する取組の推進
施策2 緑を楽しむ市民の盛り上がりを醸成する取組の推進
(4) 効果的な広報の展開	
市民の理解を広げる広報の展開
5 市民推進会議委員名簿
6 市民推進会議委員からのコメント
7 市民推進会議広報誌	
「みどリアップ Q」「子ども版広報誌」(平成 27 年度発行分)

(1) 取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

施策1 樹林地の確実な保全の推進

事業 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

市内に残る樹林地の多くは民有地であり、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐためには、土地を所有する方が、できるだけ持ち続けられるよう支援することが必要です。そこで、緑地保全制度の指定により土地所有者への優遇措置を講じることで、樹林地を保全します。また、土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に対応します。

取組	項目	27年度		30年度までの目標	27年度までの進捗状況
		目標	進捗状況		
緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	新規指定面積	100ha	26.3ha	500ha	128ha
	買取面積	19.7ha	7.5ha	108ha	25.7ha

※実績は11月末時点での集計です



特別緑地保全地区に新規指定された緑地
(金沢区/関ヶ谷地区)



特別緑地保全地区に新規指定された緑地
(青葉区/元石川町平崎地区)

市担当者からのコメント

- ・特別緑地保全地区の指定では、平成26年度は全国での約7割(面積ベース)にあたる、40.7ha(20地区)を指定しましたが、今年度はそれを上回る62.5ha(29地区)を指定することができました。
- ・指定意向の強い所有者や、比較的大規模な樹林地の所有者への働きかけは一通り進みましたが、今後の指定推進はこれまでよりも難しくなることが予想されます。来年度以降の目標達成のためには、比較的小規模な樹林地の所有者への働きかけが重要となるため、これまで以上に丁寧かつ粘り強い説明を行い、身近な緑についても保全を進めます。

◆施策1についての評価・提案

- ・みどりアップ計画の根幹である緑地保全制度による樹林地の指定、買取は目標を達成しており、樹林地の保全が進んでいることを評価します。
- ・毎年度 100ha という高い目標を掲げている中、26 年度に続き 27 年度も指定の目標を達成しています。25 年度までの計画と合わせ、既に 700ha 以上の樹林地が保全されており、市内の樹林地の減少に歯止めをかけています。
- ・取組の成果として、緑地保全制度で指定した場所を樹林地保全マップとして公表されており、成果の見える化が進んでいます。

施策2 良好な森を育成する取組の推進

事業 生物多様性・安全性に配慮した森づくり

樹林地の維持管理（森づくり）を行う際の技術指針である森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全、利用者の安全や快適性の確保、良好な景観形成など、森に期待される多様な役割に配慮した森づくりを推進します。また、緑地保全制度の指定を受けた土地を所有する方の維持管理負担を軽減するための支援を行います。

取組	項目	27年度		30年度までの目標	27年度までの進捗状況	
		目標	進捗状況			
森づくりガイドライン等を活用した森の育成	森づくりガイドライン等を活用した維持管理の推進	市民の森等	推進	114か所	推進	223か所
		まとまった樹林地のある都市公園	推進	8か所	推進	19か所
	保安全管理計画の策定の取組	市民の森等	3か所	3か所で策定中	15か所	6か所(予定)
		まとまった樹林地のある都市公園	3か所	3か所で策定中	10か所	8か所(予定)
指定された樹林地における維持管理の支援	樹林地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成(交付受付)	130件	104件 (申請含む)	650件	236件 (申請含む)	
生物多様性に配慮した防火性・安全性の向上	市民の森等の斜面地での生物多様性に配慮した法面整備	2か所	設計中：2か所 施行中：1か所	10か所	5か所 (予定)	
間伐材の有効活用	森づくり活動団体へのチップの貸出し	推進	1回	推進	21回	

※実績は11月末時点での集計です

事業 森を育む人材の育成

市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修の実施や、ニュースレター等を活用した森づくりに関する情報発信を行います。また、森づくり活動を行う団体を対象に、活動に対する助成や、道具の貸出し、専門家の派遣といった支援を行います。

取組	項目	27年度の実績		30年度までの目標	27年度までの進捗状況	
		目標	進捗状況			
森づくりを担う人材の育成	研修の実施	推進	10回実施	推進	26回実施	
	ニュースレターの発行	推進	2回発行	推進	6回発行	
森づくり活動団体への支援	森づくり活動団体への支援	樹林地	延べ10団体	延べ20団体	延べ50団体	延べ42団体
		公園	延べ10団体	延べ9団体	延べ50団体	延べ16団体

※実績は11月末時点での集計です



森づくりガイドラインなどを活用した森の育成/森づくりガイドライン等を活用した維持管理の推進
(栄区/上郷市民の森)



森づくりガイドライン等を活用した森の育成/保全管理計画の策定の取組(保土ヶ谷区/境木ふれあいの樹林)



市担当者からのコメント

《生物多様性・安全性に配慮した森づくり事業》

・愛護会や土地所有者の方と森の将来像について話し合うと「地域の人に野草を楽しんでほしい」「子供の野外学習に役立てたい」といった、自分たちの素敵な森を地域に活かしたいというご意見を多くいただきます。私たち職員もその思いが形になるよう、様々な情報や培ってきた技術などを最大限活用して、愛護会やボランティアの方などと協働で森づくりを進めていきます。上郷市民の森では、森林再生の苗作り作業に地域のボーイスカウトの子供たちに加わってもらって、森づくりを次世代に伝える機会とすることができました。

《森を育む人材の育成事業》

・森づくり活動に取り組む団体のスキルアップや課題解決を図る研修を通じて、動植物や資源循環等に配慮した森づくりの魅力をお伝えしました。参加者からは、「日頃自分たちで手入れをしている森に対する見方が深まった」などといった声が寄せられました。

◆施策2についての評価・提案

- ・森づくりガイドラインを活用した維持管理や保全管理計画の策定は順調に進んでいます。森ごとに適正な維持管理が行われていることを評価します。この取組が多くの森に広がっていくことを期待します。
- ・緑地保全制度により指定した私有樹林地の維持管理の支援は所有者が土地をもち続けることに大いに役立っていると思われます。
- ・森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修は、緑を将来にわたって維持していく上で重要な取組であり、その裾野を広げる取組を一層期待します。
- ・市民の森などで活動する団体に、必要な道具の貸出しなどを行うことは、今後の後継者不足が見込まれる地域の森の維持管理に、ボランティアが参加しやすい仕組みとしても重要な取組です。

施策3 森と市民とをつなげる取組の推進

事業 市民が森に関わるきっかけづくり

森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関するイベントや講座の開催などにより、市民が森に関わるきっかけを提供します。また、平成 25 年度までに設置したウェルカムセンター（5 館）を活用し、多くの市民が、横浜の森について理解を深めることができるような情報発信を行います。

取組	項目	27 年度の実績		30 年度までの 目標	27 年度までの 進捗状況
		目標	進捗状況		
森の楽しみづくり	イベント等の実施	36 回	100 回	180 回	207 回
森に関する情報発信	ガイドマップの作成	推進	2 地域で作成	新規に指定された市民の森等を対象に作成	5 地域で作成

※実績は 11 月末時点での集計です



森の楽しみづくり/みどりアップ健康ウォーキング(旭区/市沢ふれあいの樹林)



森の楽しみづくり/クラフト教室
(南区/南まつり・蒔田公園)



森に関する情報発信/ガイドマップの作成
「泉の森ふれあいの樹林 中田宮の台市民の森 新橋市民の森」(泉区)



森に関する情報発信/平日探鳥会
(戸塚区/舞岡ふるさとの森)

市担当者からのコメント

- ・中学校の美術部の生徒と協働して気軽に参加できる間伐材クラフト教室を開催したり、大学と連携して森やそこに住む生き物について親子で楽しみながら深い学び体験ができる講座を開催するなど、森に関わる市民の裾野を広げるため、多様な主体と協力してイベントを多数実施しました。
- ・また、ウェルカムセンターでは、見ごろの植物や渡り鳥の情報などタイムリーな情報を発信することで多くの来館者に森に親しむきっかけを提供しました。
- ・今後も、多くの市民に森やそこに住む生き物の魅力を伝えることで、市民が森に関わるきっかけづくりを推進していきます。

◆施策3についての評価・提案

- ・森の楽しみづくり事業では、将来を担う子供達を参加対象にしている事業も多く、森に親しんでもらうことは緑の取組のより一層の理解をすすめるためにも大切です。
- ・ウェルカムセンターの活用は、横浜自然観察の森などのように、数多くの小学校が緑や生き物の豊かさ大切さを学ぶことができる貴重な取組です。子どもたちのこれからの成長にとっても良い影響を与えるものだと考えられます。
- ・森の活動に CSR 活動として企業がより一層関わっていくことが大切です。

「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

(300～500 字程度)